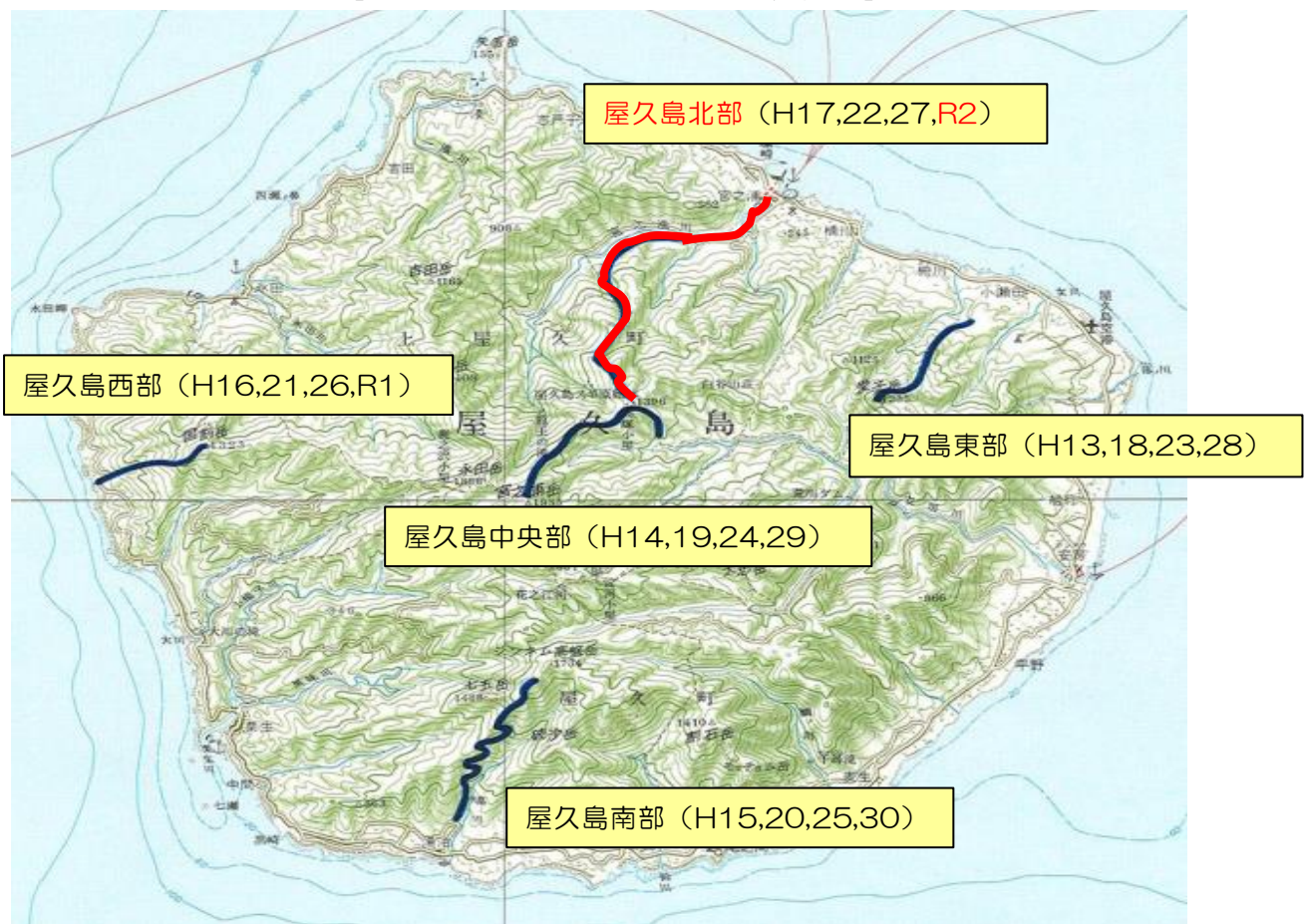


令和2年度屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関する
モニタリング調査計画

1 屋久島北部等地域の垂直方向の植生モニタリング調査

屋久島北部等地域の垂直方向の植生モニタリング調査(標高0mから1,400mの10箇所66プロット、植生調査、群落配分図(横断図)の作成、衰退樹木等調査、ヤクシカ生息密度調査等)を行い調査結果を取りまとめる。また、今回と過去3回(平成17、22、27年度)とを比較・分析し、動態予測を行い評価する。

【屋久島垂直方向モニタリング位置図】



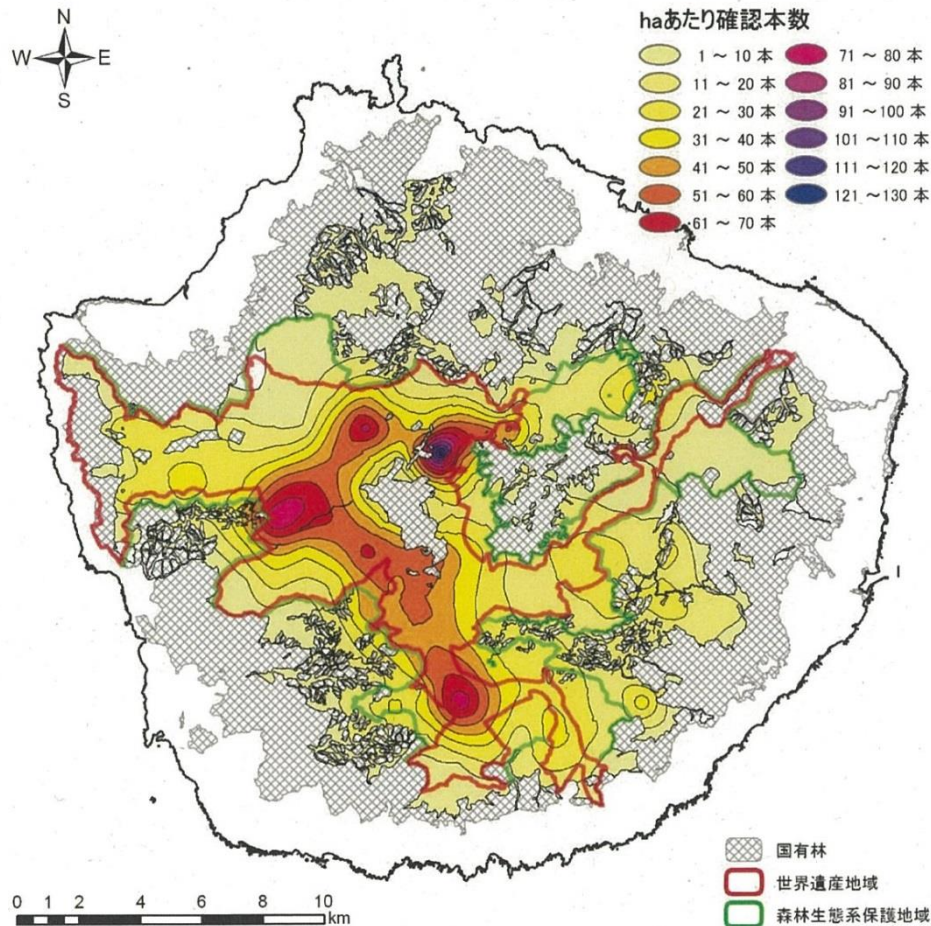
2 高層湿原の植生状況モニタリング調査及び保全対策の実施

- (1) 平成29年度に小花之江河に設定した調査プロットにおいて、植生保護柵内外のモニタリング調査を実施し、動態予測を行い評価する。
- (2) 令和元年度に設置した水の収支、地下水位、気水温、湿原地質調査及び試行的保全対策箇所(土砂、枝条等の堆積状況)をモニタリングし評価する。
- (3) 水域環境(流路・湛水域)・土壌堆積量の分布面積、植生群落の分布状況を調査し、地形図及び分布図を作成する。また、湿原の詳細な微地形図を作成する。
希少種ハバメシジミの生息調査を実施し、過去3回(平成18年、22年、27年度)とを比較・分析し評価する。

3 天然スギ林の現状把握

天然スギ分布状況の把握と分布状況図の作成し、過去のデータと比較・分析し評価する。

【平成 21 年度時点の判読データによる本数密度分布図】



4 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査

気候変動による屋久島世界自然遺産地域への影響について、「世界自然遺産「屋久島」の森林生態系における気候変動の影響モニタリング調査内容一覧」により、各機関のモニタリングデータの収集、気象庁アメダスによる気候変動等のデータの収集・分析等を行い、動態予測及び脆弱性の評価をする。

5 著名ヤクスギ樹勢診断

屋久島は、縄文杉などヤクスギ巨木を有する特殊な生態系と巨木の存在が優れた自然景観を醸し出している。それらの巨木は、入込者による踏圧やヤクシカによる仮想植生採食の影響、気象による影響などにより巨木の成長が阻害されている。このようなことから、著名ヤクスギの状況、倒木等の危険度を判断する著名ヤクスギの樹勢診断を実施する、

○調査予定木：仁王杉・八本杉